

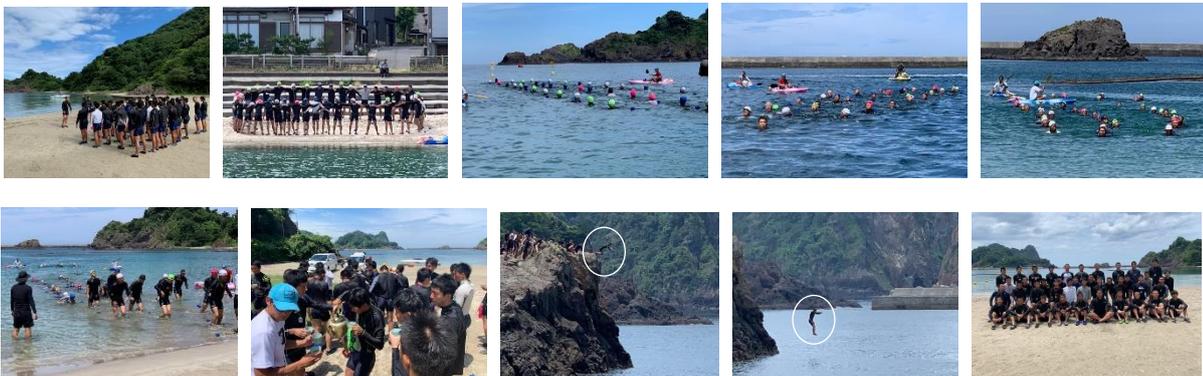
7月9日世代間交流をさせていただいている高齢者大学のある
嬉野台生涯教育センター創立40周年記念式典に行かせていた



だきました。式典後は、社高校からプロ野球に入れ活躍された森脇浩司氏が「夢に向
かっての道のり」というテーマでの対談形式の記念講演を聞きました。ソフトバンクで王監
督の懐刀として経験を積まれ、オリックス監督、巨人、中日のコーチを歴任された経験、さ
らに選手時代のことなど幅広いお話を聞かせていただきました。準備の大切さを兄である

森脇忠之本校前校長からプロに入る前に言われたことを忠実に守られ、選手としてやってきたことや母からの
手紙の話など胸に熱く迫るものがありました。ご経験に基づく話でしたので、とても分かりやすく聞きながら聞か
せていただきました。

7月8日から
10日まで浜坂
諸寄海岸で、
体育科1年生
の海洋実習が
行われました。
最終日に大遠



泳があるということで、生徒たちの頑張りに見に行きました。天気にも恵まれ、この日の朝は、釣りをして実習後
のバーベキューの食材を調達したようです。小遠泳に引き続き、大遠泳前には円陣を組んでの一体感を創出。
出発しました。私と木下先生、見学の生徒は宿の船に乗り込み、船上から見学。体育科の先生方は、カヌー
で前後左右と4方向からサポート。担任の高原先生は先頭で生徒と一緒に声を出しながら泳ぐペースを作っ
ておられました。今年は天候もよく、波も穏やかだったので、40分ほど沖合に出て、帰ってくるコースをとりました。
終盤、やや遅れそうになりながらも全員が声を出して励ましあい、全員が無事完泳。砂浜に上がってくると飴湯
が用意されており、体力を使い切った体にしみこむように暖かい飴湯を飲んでいました。この実習の最後は、岩
場からの飛び込みです。それぞれが目標を大きな声で叫び、飛び込むという恒例の行事です。「全国大会に
出場する」「全国優勝して顧問を胴上げする」など多少大き目ではありますが、体育科生として目標としている
ことを皆が叫びながら飛び込んでいました。最後は高原先生が締めくり、実習は終了。参加した生徒は、体
調面から見学になった生徒もいましたが、無事に海洋実習を終えることができ、食事をほおぼって帰路につ
きました。昔から続くこの海洋実習も、内容は様変わりしてきたようですが、体育科生のプライドをそして自信を持た
せる大きな行事であることには変わりはありません。協力体制や思いやりの心など今までより強固なものになった
ことでしょう。随所にそう言った雰囲気を感じ取ることができ、2泊3日の短い実習でしたが、成長した姿を見る
ことができました。生徒たちが自分たちの目標を達成できるようにお互いが切磋琢磨するだけでなく、挫けそうな
ときに支えあい、協力して社高校を盛り上げてほしいと思います。学校で出迎えたときの生徒たちの充実
感あふれる顔がとても印象的でした。引率の先生方も本当にお疲れさまでした。



そして7月11日は、1年生で政治的教養を
高める講演会を実施。加東市選挙管理委員
会から選挙に参加する重要性と仕組みを話し
ていただきました。国会議員の特権として新幹

線乗車が無料、選挙に立候補するのに300万円の供託金が必要であるとかお金の話から入って、自分た
ちの生活にも直結してくるという結びつきの話をされました。3年生の一部の生徒はすでに選挙権があり、7月21
日に参議院選挙では投票できますので、意識を高める必要はあると思いました。衆議院選挙と県知事選が
令和3年に予定されているので、今の1年生が3年生の時ですから、他人事ではありません。しっかりと意識
をしていってください。2年生は進路ガイダンスということで各大学、専門学校等から講師をお招きし、自分が関
心のある内容について話を聞きました。実際の職業観にも結び付いていくことなので、真剣に聞いていました。
まだまだ先と思わずしっかりと自分の進路について考えていってください。